

ながいもの安定多収には芽出しの湿度管理が大事！

道総研 十勝農業試験場 研究部 地域技術グループ

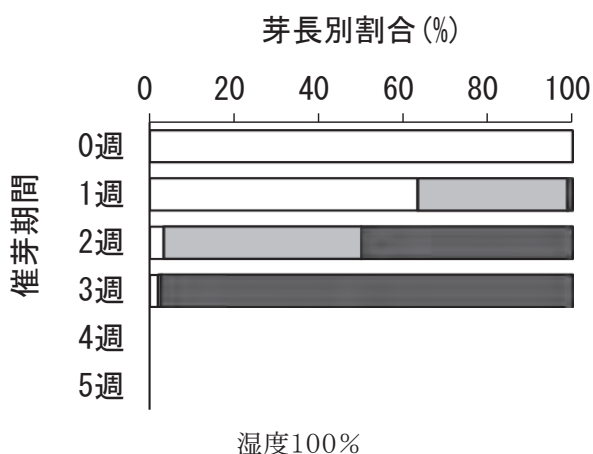
1. 成果の概要

催芽（芽出し）の時の湿度を100%から80%に変えると、

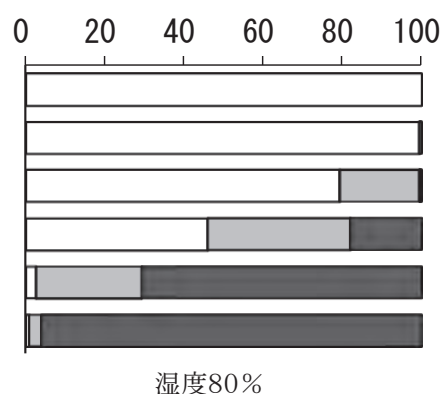
- (1) 催芽期間が湿度100%より1～2週間長くなります。
- (2) しかし、植付け後の萌芽が早く、揃いも良くなります。
- (3) また、大きな減収要因の一つである不萌芽がほぼ無くなり増収します。
- (4) 作業体系が大きく変わらず、粗収益が高まるので経営メリットが大きくなります。

2. 成果内容

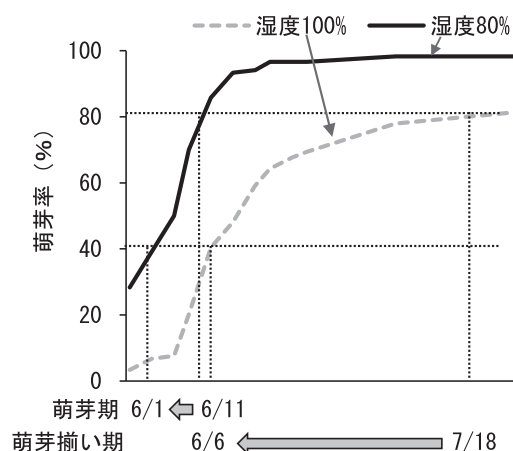
催芽期間がやや長くなる



芽長別割合 (%)



萌芽性が格段に向上する



萌芽期：萌芽率40%

萌芽揃い期：萌芽率80%